

特別会計財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 30～50年

什器備品 3～10年

(2) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しております。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
建物	0	156,150,714	2,386,551	153,764,163
構築物	0	6,440,025	177,101	6,262,924
什器備品	0	143,850	2,997	140,853
建設仮勘定	514,500	62,226,465	28,000	62,712,965
保証金	0	464,000	244,000	220,000
合 計	514,500	225,425,054	2,838,649	223,100,905

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
建物	153,764,163	(153,764,163)	-	-
構築物	6,262,924	(6,262,924)	-	-
什器備品	140,853	(140,853)	-	-
建設仮勘定	62,712,965	(62,712,965)	-	-
保証金	220,000	(220,000)	-	-
合 計	223,100,905	(223,100,905)	-	-

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	156,150,714	2,386,551	153,764,163
構築物	6,440,025	177,101	6,262,924
什器備品	143,850	2,997	140,853
合 計	162,734,589	2,566,649	160,167,940

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	116,487,184
減価償却費計上による指定解除額	2,566,649
経常外収益への振替額	
目的達成による指定解除額	8,763,720
合 計	127,817,553